

青森市総合計画 基本構想答申案（素案）【概要版の素】

基本構想策定の目的

本市を取り巻く社会経済環境の変化に迅速かつ的確に対応するとともに、本市の真の緊急課題である人口減少に立ち向かうための新たなまちづくりの方向性として、多くの市民がこのまちで暮らし続けることができるようしごと創りなどに取り組むほか、持続可能な都市づくりを目指した多極型の「コンパクト・プラス・ネットワーク」の方針の下、10年後の将来を見据え、本市のまちづくりを総合的・計画的に進めるため、新たな総合計画を策定します。

基本構想の目標年次

2019年度を初年度とし、目標年次を10年後の2028年度とします。

※基本計画
 前期：2019年度から2023年度まで
 後期：2024年度から2028年度まで

本市の地域資源

[人口・面積等] 287,648人、118,234世帯（2015年国勢調査）、824.61平方キロメートルで約70%が森林

[自然] 陸奥湾、八甲田連峰、梵珠山など [温泉] 浅虫・八甲田地区の温泉など

[祭・伝統芸能] ねぶた、浪岡北皇祭り、獅子踊など [特産品] りんご、カシス、ホタテ、ナマコなど

[産業構造] 市内総生産の割合では第3次産業が89.8% [高等教育機関] 4年制大学4校、短期大学2校

[都市基盤] 都市機能が集積、新幹線・空港・港など交通結節点

本市の直面する諸課題

人口減少
 2015年：287,648人→2028年：246,408人（△41,240人、14.3%減）
 まちづくりを進めるに当たっては、現在置かれている状況や、人口減少の影響及びこれに伴う社会経済環境の変化等、次のような課題を踏まえて考えていく必要があります。

(1) 魅力ある仕事や労働力の不足
 本市では、若年層の市外流出による人口の社会減が継続しており、魅力ある仕事が不足していることがその要因のひとつと考えられます。また、労働力の不足が懸念されます。

(2) 少子化の進展
 本市における合計特殊出生率は、2017年は1.40と国よりも低水準であり、また、非婚化・晩婚化の進展、若年層の市外流出による子どもを産む世代の減少などが相まって出生数が減少しています。

(3) 多様化する地域課題と地域活力の維持
 多様化・複雑化する地域課題等に適切に対応していくためには、行政が中心となった取組だけでは限界が生じています。また、国では、広域連携の重要性について議論されています。

(4) 高齢化の進展・短命市
 本市の高齢化率は、2017年で29.3%と全国平均よりも高く、また、平均寿命は、2015年は男性78.9歳、女性85.7歳と、ともに全国市区町村の中でも下位に位置する短命市と言えます。

(5) 多発する自然災害・空家等の増加
 2011年の東日本大震災のほか、近年、全国各地で発生している大規模地震や局地的な集中豪雨とそれに伴う土砂災害、予期せぬ降雪による被害など、全国的に見て大規模な自然災害が多発しています。

(6) 地球温暖化や海洋汚染など
 我が国においては、耕作放棄地や手入れの行き届かない森林が自然環境に悪影響を及ぼしており、本市においても同様に課題となっています。

まちづくりの基本視点

人口減少への対応・挑戦
 人口減少・少子高齢化の影響を抑制し、持続可能なまちづくりを進めるため、県都であることや港町・商都として発展してきた経緯、豊かな地域資源を活かし市民一人ひとりが挑戦する街を目指します。

(1) 産業創出と担い手の確保
 地域資源や特性を活かした産業の創出や「攻めの農林水産業」を展開するとともに、誘客の強化を図ることで交流人口の拡大につなげ、多くの市民がこの街で暮らし続ける環境を確保します。

(2) 未来を支える人材の育成
 本市の未来を担う子どもたちが、元気に生まれ、育つことができる環境づくりや、「生きる力」を育成する教育環境づくり、地域スポーツの活性化や文化・芸術の振興などを通じて、本市の未来を支える人材の育成を進めます。

(3) 連携の推進・安心な地域社会づくり
 課題解決や日常生活を維持するため、地域内連携を進め、全ての市民が安心して暮らすことができるような地域社会づくりを進めます。また、地域活力の維持確保などのため、連携によるまちづくりを推進します。

(4) 生涯現役の推進
 健康寿命の延伸を進めるとともに、あらゆる市民が、いつまでも住み慣れた地域で生きがいを持って心身とも健康に暮らし、生涯現役として活躍することができるまちづくりを進めます。

(5) 持続可能な都市づくり
 都市の効率を高めるコンパクトな複数の拠点づくりと、それらの拠点を接続する公共交通ネットワークを有機的に連携することにより、持続可能な都市づくりを目指した『コンパクト・プラス・ネットワーク』を進めます。

(6) 自然環境の保全
 陸奥湾や八甲田に象徴される本市の美しい自然環境を保全し、その自然によってもたらされる「豊かな恵み」である豊富で優れた農水産物を守り、次の世代に引き継いでいきます。

将来都市像

市民一人ひとりが挑戦する街

施策の大綱

第1 しごと創り
 (1) 産業の振興・雇用対策の推進
 (2) 農林水産業の振興
 (3) 観光の振興・誘客の推進

第2 ひと創り
 (1) 子ども・子育て支援の充実
 (2) 教育の充実
 (3) スポーツの推進
 (4) 文化・芸術の推進

第3 まち創り
 (1) 地域内連携・広域連携の推進
 (2) 安全・安心な市民生活の確保
 (3) ユニバーサル社会の形成

第4 やさしい街
 (1) 保健・医療の充実
 (2) 高齢者福祉の充実
 (3) 障がい者福祉の充実
 (4) 暮らしを支える福祉の充実

第5 つよい街
 (1) 防災体制・雪対策の充実
 (2) 土地利用・都市景観の形成
 (3) 交通インフラの充実

第6 かがやく街
 (1) 豊かな自然環境の保全
 (2) 快適な生活環境の確保
 (3) 廃棄物対策の推進

